



ほけんだより 10月号

令和3年 10月
しいの木保育園
看護師 鈴木

気持ちの良い秋晴の下、園庭では子供たちがのびのびと身体を使って遊んでいます。子どもの身体は動いてこそ成長します。大人にとっては無駄にみえる動きも、子どもの成長には欠かせない動きであったりします。気持ちの良い今の季節こそ、外へ出て少し離れて子どもの動きを観察してみてください。思わず笑ってしまうような動き。それが成長の種ですよ！

～内科健診があります～

10月28日(木) 14時～本年度2回目の内科健診があります。詳細は後日配布しますが、その時間は登園できるようにしてください。「乳幼児保健表」も1度お返しします。当日欠席される予定がある場合はお早目に連絡を頂けると助かります。

保護者のワクチン接種後の登園

保護者の方の新型コロナウイルス感染症のワクチン接種後の発熱時は、可能であれば登園はお控え頂きたいと園では考えています。しかし、副反応時はゆっくり身体を休めて頂きたいという思いもあり、どうしても預け先がない場合は発熱1日目まではお預かりします。発熱が続く場合、そのまま陽性となるケースもありますのでご理解ご協力をお願いいたします。



『子どもたちの日常がめちゃくちゃ。熱があればコロナを疑われる。咳があればコロナを疑われる。マスクをしないと非国民。コロナだから中止。コロナしか見えていない親は絶対に熱出させたらダメだと思って、家でも子どもを窮屈にさせてる気がする。まず生きて楽しいって思えるように取り戻したい』

これは、3人のママである方がSNSに投稿した言葉です。コロナばかりでなく、ウイルスは日常に沢山います。保育園は集団生活ですので、感染も広まりやすく、どうしてもお約束が次々とできてしまいます。これは本当に子どもたちを守るためにやっていることなのだろうか・・・と葛藤しながらの毎日です。新型コロナウイルス感染症の対策が始まって1年半・・・みなさん色々な事をお考えかと思えます。園に対してのご意見などありましたら、お気軽に声をかけてください。



※おねがい※

・登園時にちょっとでも変わった事があったら必ず引き渡す職員にお伝えください。「ごはんの食べが悪かった」「なんとなく元気がない」「虫に刺された」「受診をした」・・・等々、小さな情報が異常の早期発見につながります。「くだらないことですみません」とよく耳にしますが、「くだらないこと」に気が付くのは良く見ている証拠です！ぜひ教えてください。

・内服薬を持参する場合は必ず職員に手渡ししてください。子どもが後から持ってくることも多々ありますので宜しくお願いします。

・登園の判断に迷った時は、まずは園へのお電話での相談をおすすめします。